

(5)「一緒に考えよう！西表島の未来と世界自然遺産」 船浮会場 結果概要

■日時：平成30年11月21日（水）19:00～21:00

■場所：船浮多目的施設

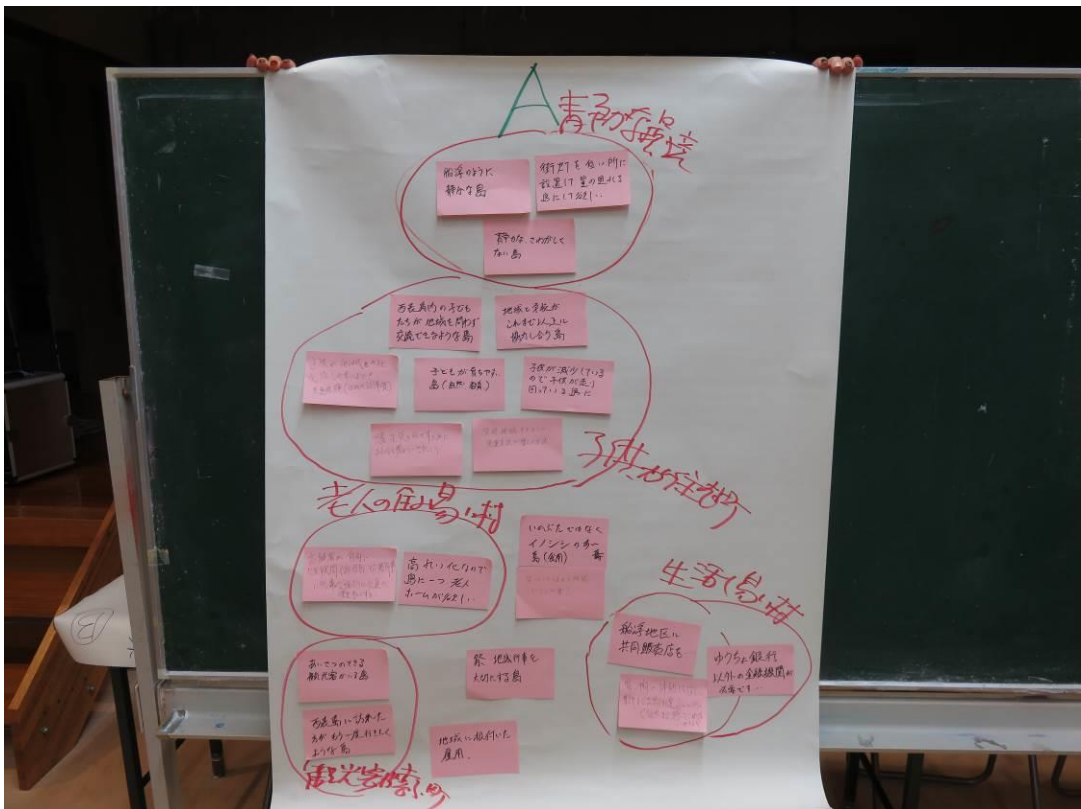
■参加者数：13名



■意見交換

<グループA>

話題①：これからの西表島はどんな島であって欲しい？



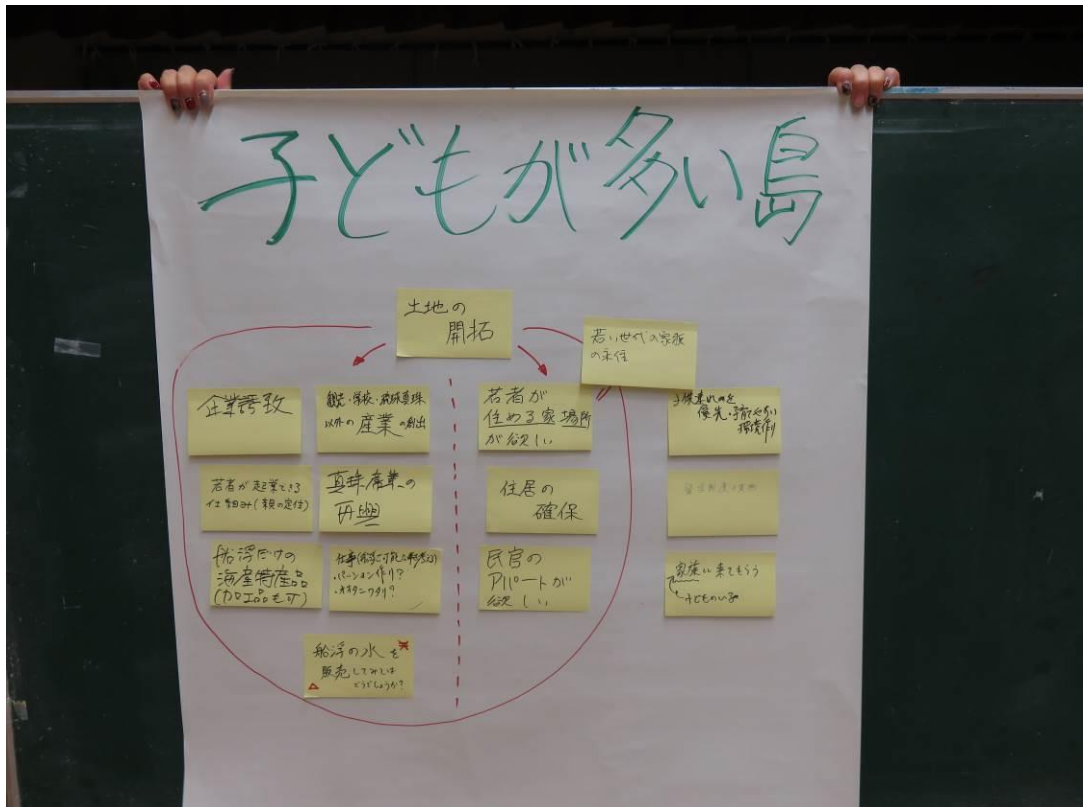
船浮会場 グループA テーマ①

○静かな環境

- ・船浮のように静かな島
 - ・街頭を低いところの設置して星の見れる島にしてほしい
 - ・静かなさわがしくない島
- 子供が住む町・西表島内のこどもたちが地域を問わず交流できるような島
- ・地域と学校がこれまで以上に協力し合う島
 - ・子供が他地域の子と交流しやすいように！共通理解（日曜や放課後）
 - ・子どもが育ちやすい島（自然・教育）
 - ・子供が減少しているので、子供が走り回っている島に
 - ・児童、生徒を増やすためにみんなと考えていきたい
 - ・学校存続するように、児童生徒が増える方法
- 老人の住みやすい村
- ・高齢者が自由に公共機関（郵便局、診療所等）に行くことができるように交通の便を良くする
 - ・高齢化なので島に一つ老人ホームがほしい
- 生活しやすい村
- ・船浮地区に共同販売店を
 - ・ゆうちょ銀行以外の金融機関が必要です
 - ・買い物の補助して欲しい。東部まで品物を運ぶに行く。（白浜までもってこれないかな？）
- 観光客が喜ぶ町
- ・あいさつのできる観光客がいる島
 - ・西表島に訪れた方がもう一度行きたく場合ような島
- その他
- ・いのぶたではなくイノシシの多い島（食用）
 - ・安心して住める地域（イノシシの害）
 - ・祭・地域行事を大切にする島
 - ・地域に根付いた雇用

話題②：そのために、世界自然遺産を活かして実現できることは？

(選択したテーマ：子どもが多い島)



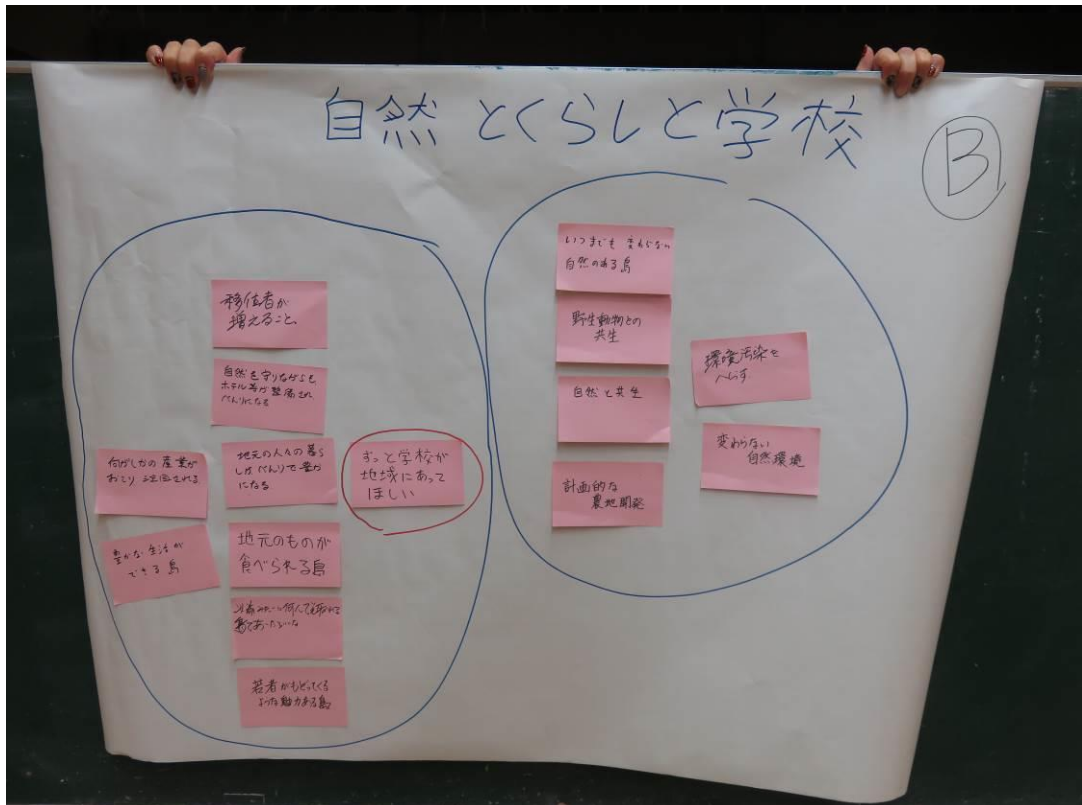
船浮会場 グループA テーマ②

○無題 1

- ・ 土地の開拓
- ・ 若い世代の家族の永住
- ・ 企業誘致
- ・ 観光・学校・琉球真珠以外の産業の創出
- ・ 若者が住める家、場所がほしい
- ・ 子供連れを優先・子育てしやすい環境作り
- ・ 若者が起業できる仕組み (親の定住)
- ・ 真珠産業の再興
- ・ 住居の確保
- ・ 留学制度の実施
- ・ 船浮だけの海産特産品 (加工品も可)
- ・ 仕事 (船浮で可能な事を考える)・パッション作り?・オオタニワタリ?
- ・ 民官のアパートが欲しい
- ・ 家族に来てもらう (子どものいる)
- ・ 船浮の水を販売してはどうでしょうか?

<グループB>

話題①：これからの西表島はどんな島であって欲しい？



船浮会場 グループB テーマ①

○自然と暮らしと学校 1

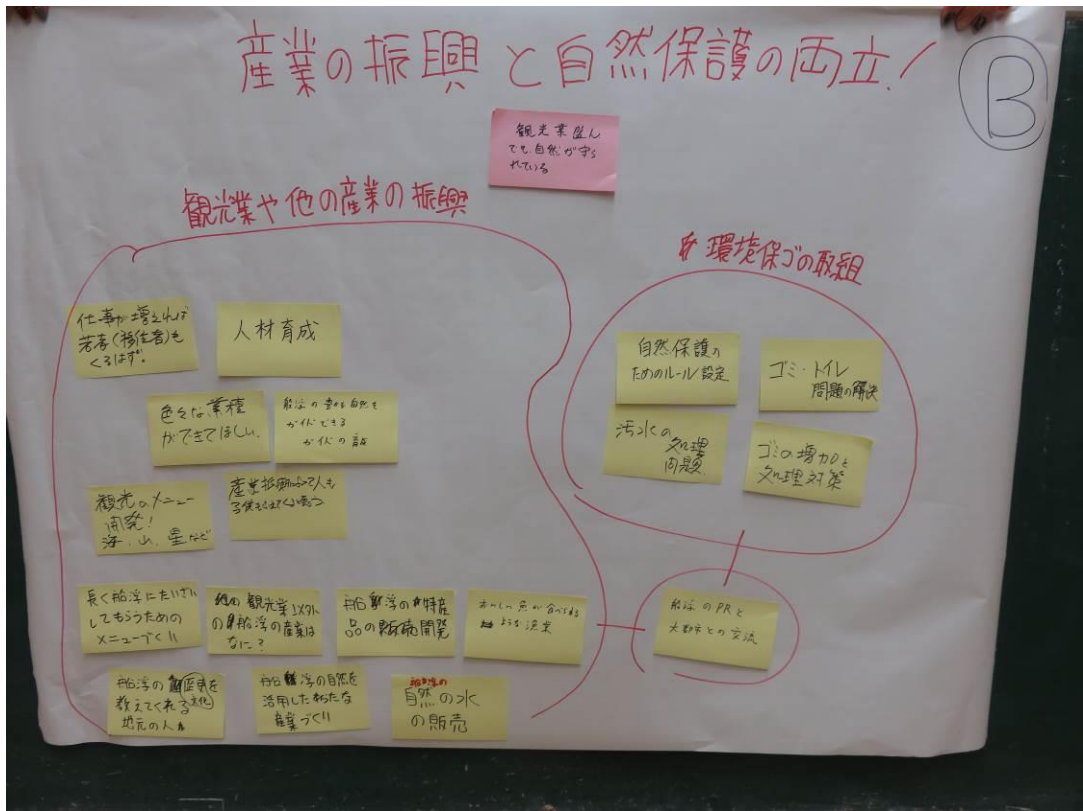
- ・移住者が増えること
- ・自然を守りながらもホテル等が整備され便利になる
- ・何がしかの産業がおこり、注目される
- ・地元の人々の暮らしがべんり豊かになる
- ・ずっと学校が地域にあってほしい
- ・豊かな生活ができる島
- ・地元のもものが食べられる島
- ・以前みたいに何でも取れる島であってほしい
- ・若者がもどってくるような魅力ある島
- ・観光産業が盛んでも、自然が守られている

○自然と暮らしと学校 2

- ・いつまでも変わらない自然のある島
- ・野生動物との共生
- ・自然と共生
- ・計画的な農地開発
- ・環境汚染をへらす
- ・変わらない自然環境

話題②：そのために、世界自然遺産を活かして実現できることは？

(選択したテーマ：産業の振興と自然保護の両立)



船浮会場 グループB テーマ②

○観光業や他の産業の振興

- ・仕事が増えれば若者（移住者）もくるはず
- ・人材育成
- ・色々な業種ができてほしい
- ・船浮の豊かな自然をガイドできるガイドの育成
- ・観光のメニューの開発。海・山・星など
- ・産業振興によって人も子供もふえてくると思う
- ・長く船浮に滞在してもらうためのメニューづくり
- ・観光業以外の船浮の産業はなに？
- ・船浮の特産品の開発
- ・おいしい魚が食べられるような漁業
- ・船浮の歴史文化を教えてくれる地元の人
- ・船浮の自然を活用したあらたな産業づくり
- ・船浮の自然の水の販売

○環境保護の取組

- ・自然保護のためにルール設定

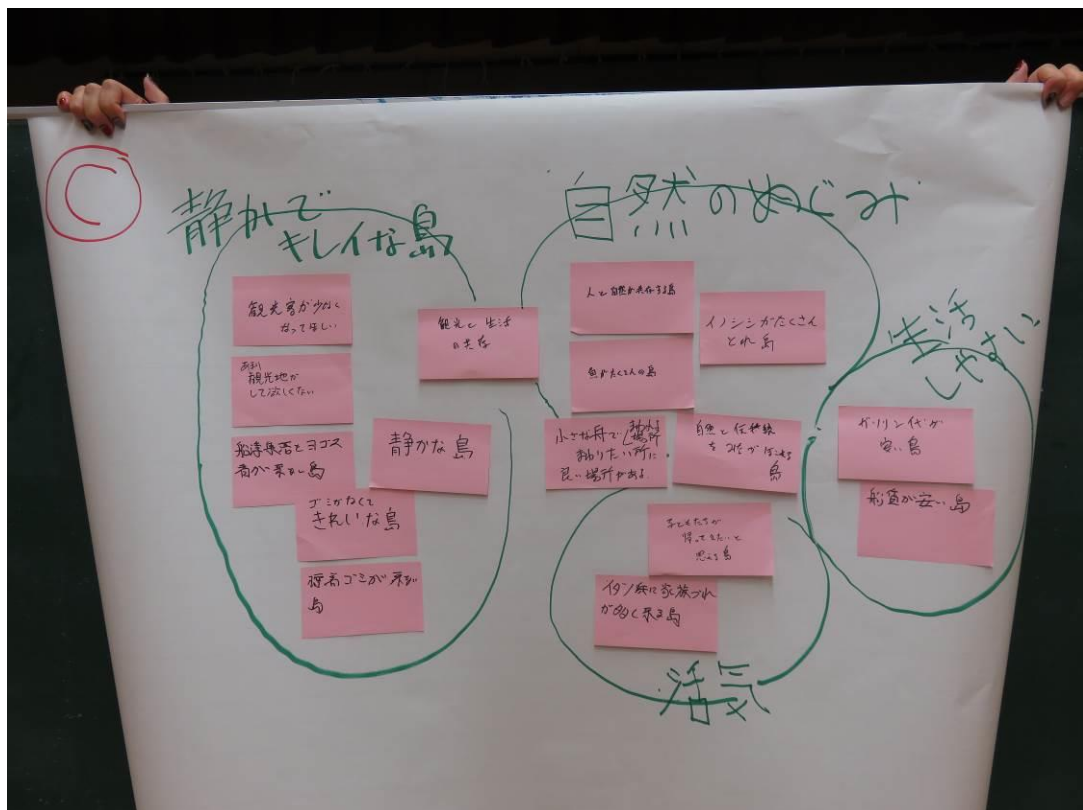
- ・汚水の処理問題
- ・ゴミ・トイレ問題の解決
- ・ゴミの増加と処理対策

○無題 1

- ・船浮の PR と大都市との交流

<グループC>

話題①：これからの西表島はどんな島であって欲しい？



船浮会場 グループC テーマ①

○静かでキレイな島

- ・観光客が少なくなっしてほしい
- ・あまり観光地化して欲しくない
- ・船浮よごす者が来ない島
- ・ゴミがなくてきれいな島
- ・漂着ゴミが来ない島
- ・観光と生活の共存
- ・静かな島

○自然のめぐみ

- ・人と自然が共存する島
- ・イノシシがたくさんとれる島
- ・魚がたくさんいる島
- ・小さな舟でまわれる場所、まわりたい場所に良い場所がある
- ・自然と伝統をみながほかれる島

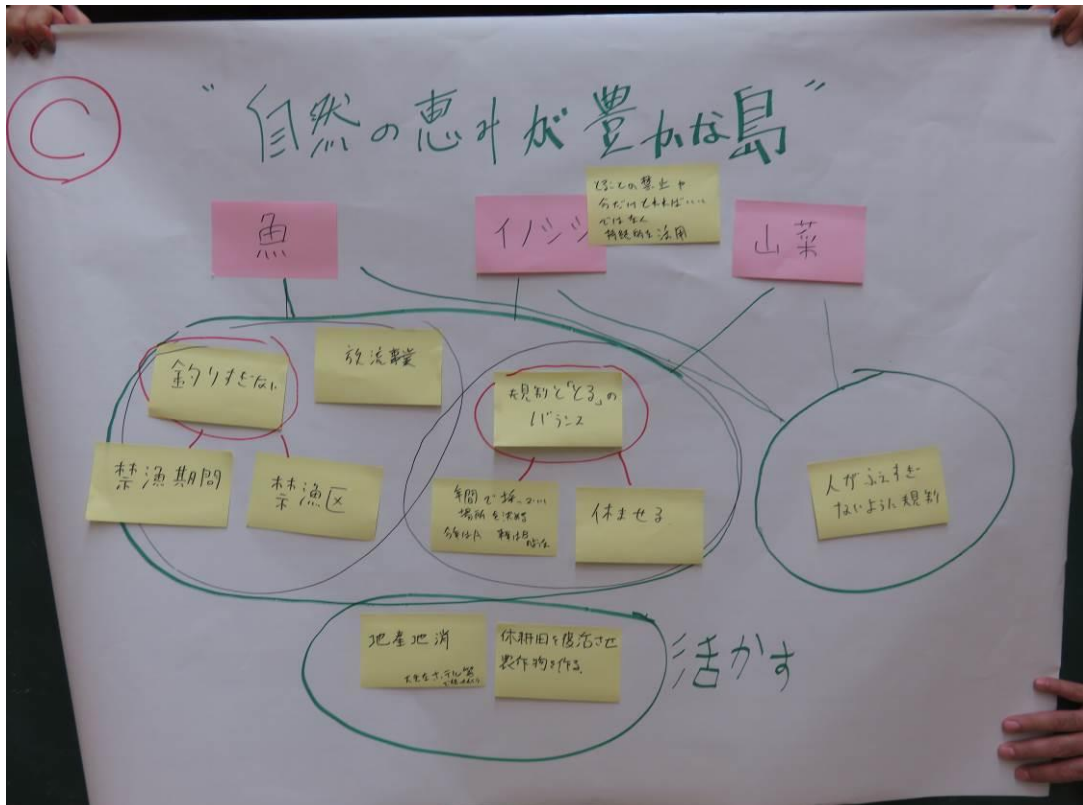
○活気

- ・子どもたちが帰ってきたいと思える島
- ・イダノ浜に家族づれが多く来る島

- 生活しやすい
 - ・ガソリン代が安い島
 - ・船賃が安い島

話題②：そのために、世界自然遺産を活かして実現できることは？

(選択したテーマ：自然の恵みが豊かな島)



船浮会場 グループC テーマ②

- 無題 1
 - ・とることの禁止や今だけとればいいではなく持続的な活用
- 魚
 - ・釣りすぎない
 - ・禁漁期間
 - ・禁漁区
 - ・放流事業
- 魚、イノシシ、山菜
 - ・規制と「とる」のバランス
 - ・年間で採っていい場所を決める。今年はA、来年はBのように
 - ・休ませる
 - ・人がふえすぎないように規制

○活かす

- ・地産地消。大きなホテル等で使ってもら
- ・休耕田を復活させ農作物を作る